

自治体名	岡谷市		自治体コード: 202045
事業名	結婚に対する支援事業	対象経費支出 予定額 ※(注)1	2,519,000 円
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日		
地域の実情と課題(これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮き上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2	<p>平成27(2015)年国勢調査結果を基とした、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、当市の人口は、2045年に31,525人まで減少すると予測されており、国全体が人口急減という深刻な課題に直面するなか、当市においても人口減少は避けられない状況にある。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の「出生動向基本調査」では、結婚に対する意識についての調査結果が公表されており、直近の調査結果によると、18歳から34歳の未婚者が「いずれ結婚するつもり」と答えた割合は、男性が87.5%、女性が89.3%であり、結婚に対する意識は決して低くない状況が伺えるが、25歳から34歳の未婚者が独身である理由では、男女ともに「適当な相手にめぐりあわない」が最も多く、そのほか「異性とうまく付き合えない」や「結婚資金が足りない」などの結婚できない理由があげられている。</p> <p>当市の基幹産業は精密機械工業であり、従業員数9人以下の小規模事業所が多数を占めており、家族や同族で事業を営んでいる所も少なくない。「職場や仕事との関係」をきっかけに結婚する夫婦が多い中、小規模事業所は従業員のほとんどが男性社員で占められており、職場や仕事関係での異性との出会いが期待できない状況にある。昨年度から実施している出会いの場創出事業の参加者への聞き取り調査では、市内企業に勤める男性のほとんどが「職場では結婚の対象となる異性との出会いがない。また、出会いが無いことから、異性への接し方がわからない。」と回答しており、国立社会保障・人口問題研究所の「出生動向基本調査」の調査結果と同じ状況が伺える。</p> <p>当市では、第5次岡谷市総合計画前期基本計画において、「希望する誰もが安心して結婚や子育ての望みを叶えられるよう、結婚に対する支援の推進に取り組むこと」としており、その具体的な取り組みとして、出会いに対する支援では、関係機関と連携し婚活イベントを実施するとともに、自分磨きのためのブラッシュアップセミナーを開催している。また、結婚にあたっての支援としては、経済的な理由により、結婚に不安を抱える低所得の若者を支援するため、結婚新生活支援事業を行っている。</p> <p>コロナ収束の先行きが不透明で事態の長期化も予想される中、今後においても、関係機関等との連携を図りながら、結婚を希望する方々に、出会いの場の創出や婚活力向上に繋がる支援、さらには経済的な支援などの充実に努め、総合的な支援の提供により一層取り組んでいく必要がある。</p>		
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3	<p>平成27(2015)年に策定した「岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では、「出生数の減少」と「市外への転出超過」の2点を、当市における人口減少の課題として捉えており、なかでも企業などで働き手の中心となり、今後、出産や育児を迎える20歳代、30歳代の若い世代の転出抑制が、人口減少対策のポイントである。また同ビジョンでは、「出生数の減少に歯止めをかけ、年少人口を増加に転じる施策」や、「20歳代、30歳代の転出を抑制し、20歳代、30歳代の転入を促進する施策」などを講ずることなどにより、人口の維持をめざしている。</p> <p>わが国の少子化の要因としては、晩婚化や晩産化、未婚など、個人の人生観や結婚観などの変化が挙げられているが、当市においても同様に捉えており、男女の出会いや結婚の機会を創出し、安心して出産でき、健やかに育てられるよう、さまざまな子育て支援策を切れ目なく提供する必要があると考えている。</p> <p>平成31(2019)年4月から第5次岡谷市総合計画がスタートし、前期基本計画を「第2次岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と位置づけ、その重点プロジェクトに「輝く子どもの育成“結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる”」を掲げ、結婚や妊娠・出産は個人の自由な選択によるものであることを基本としつつ、男女が希望する年齢で結婚し、安心して子どもを産み育てることができるよう、結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえる施策を展開し、未来を支える輝く子どもを育成することとしている。</p> <p>「岡谷に住み、働き、学び、訪れる全ての人に活躍の場や生きがいがあり、また生活に彩りと潤い、楽しみがあって、しあわせを実感でき、このまちに住み続けたい、住んでみたいと思える満足度の高い岡谷市」の実現に向け、本事業は、第5次岡谷市総合計画において、少子化対策の入り口となる重要施策に位置づけ、希望する誰もが、安心して結婚や子育ての望みを叶えられるよう、関係機関、企業等との連携を図りながら、出会いの場の創出や婚活力向上につながる支援の充実等、収入の安定しない若年層に対する経済的支援を行う、結婚新生活支援など総合的な支援の提供に位置付けるものである。</p>		
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4	<p>「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」におけるKPI</p> <p>○婚姻数(人口動態調査 厚生労働省)</p> <p>令和元年 201件 令和4年 320件</p> <p>○婚活イベント参加者数(社会福祉課調)</p> <p>令和元年 62人 令和4年 300人</p>		
参考指標 ※(注)5	直近の実績	備考(統計時点等)	
	婚姻数	192件	令和元年
	婚姻率	3.9%	令和元年
	出生数	319件	令和元年
	出生率	6.5%	令和元年

事業内容	1 重点支援事業		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	2 優良事例の横展開支援事業		対象経費 支出予定額	419,000 円
	(1) 結婚に対する取組		対象経費 支出予定額	276,000 円
	個別事業名	恋つむぐ岡谷 出会いの場創出事業	対象経費 支出予定額	276,000 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	(2) 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい 社会づくり・機運の醸成の取組		対象経費 支出予定額	143,000 円
	個別事業名	結婚新生活支援事業の周知・広報	対象経費 支出予定額	143,000 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	3 結婚新生活支援事業		対象経費 支出予定額	2,100,000 円
個別事業名	「おかやでスタート！」結婚新生活支援事業			
上記「事業内容」について、 「地方創生推進交付金」の 申請の有無※(注)6	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、自治体の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和3年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率等を記載するとともに、必要に応じて、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。